

令和7年度 事業報告

1 概要

令和7年度は、大阪・関西万博の開催や日本初の女性首相の誕生など、社会や政治の面で大きな変化が見られた一年となりました。また、物価高騰や記録的な猛暑、地域の生活環境に影響を及ぼす課題も明らかになりました。

これらの社会的動向は、地域の安全・安心や事業活動にも少なからず影響を与え、シルバー人材センターにおいても、就業機会の確保や会員の安全対策、地域ニーズへの丁寧な対応がこれまで以上に求められる状況となりました。

このような状況のなか、シルバー人材センターでは、基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、会員が長年培ってきた豊富な経験、知識、技能を活かして働くことにより、健康で生きがいのある生活を送り、社会参加による「生涯現役社会」の実現、活力ある高齢社会と地域づくりに努めてまいりました。

当センターの令和7年度末の「会員数」は427人で、前年度末と同人数、実際に就業した会員数を示す「就業実人員」では3人減少し、事業実績のうち「受託件数」では232件、6.8%の減少、「契約金額」では、最低賃金を考慮し配分金単価を平均4.6%引き上げましたが、シルバー離れなど受託件数の減少もあり全体で約259万円、1.2%の減少となり依然厳しい状況が続いております。

シルバー人材センターを取り巻く環境は、デジタル化による業務効率化の推進やフリーランス新法への対応など大きく変化する中、今後のシルバー事業の更なる充実を図るためにも、新規加入会員の拡大と新規就業先の開拓が喫緊の課題となっています。

また、「安全は全てに優先する」との基本理念のもと、飛び石事故を始めとする事故の防止に努め、事故件数は減少の傾向にあり、今後もより一層の安全就業の徹底に努めてまいります。

事業実績対前年度対比の詳細については、下記のとおりです。

項目	令和7年度	令和6年度	増減	伸び率
会員数	427人	427人	±0人	±0.0%
就業実人員	395人	398人	△3人	△0.8%
就業延人員	38,266人	40,750人	△2,484人	△6.1%
受託件数	3,203件	3,435件	△232件	△6.8%
契約金額	210,366,233円	212,960,827円	△2,594,594円	△1.2%

2 主な事業内容

(1) 安全就業の推進、事故防止

ア 事故発生件数が多い、草刈班、剪定班の班長会議を開催し、安全就業の徹底を図りました。

また、飛石事故等防止に向けた安全就業講習会を開催し、会員の安全意識の向上と事故防止を図りました。

イ 事故ゼロを目標に、安全就業推進員による安全・適正就業パトロールを実施し、「自分の身は自分で守る」という安全意識の醸成に努めました。

○安全就業パトロール実施状況

4月、7月、9月、11月、2月に実施（現場訪問件数 11件）

○安全就業推進員による安全就業巡回の実施状況

年間巡回日数 70日（巡回現場件数 351件）

○事故の発生状況

項目	傷害事故		賠償事故		車両事故	合計
	住居と就業場所との移動中	就業中	住居と就業場所との移動中	就業中		
7年度	1件	1件	0件	1件	1件	4件
6年度	0件	3件	0件	4件	1件	8件
増減	1件	-2件	±0件	-3件	±0件	-4件

ウ 草刈り、草取り、剪定、屋外清掃、駐車場等整理など屋外で作業を行う会員の熱中症予防や寒冷環境下で作業を行う会員の健康リスクを予防するため、空調服や電熱服の購入に対し、一部助成（購入費の半額、空調服上限1万円、電熱服上限3千円）を引き続き実施しました。

○空調服購入費の助成者数 9人（助成額 1人当たり 8,900円）

○電熱服購入費の助成者数 4人（助成額 1人当たり 2,700円）

(2) 会員の拡大

会員の拡大を進めるためには、シルバー人材センターを知っていただくことが重要と考え、チラシを作成し全戸配布したほか、シルバーだより、市広報などを通じて情報提供を図りました。

○シルバーだよりの発行（2回） 令和7年7月、令和8年1月

○チラシの配布（全戸配布） 令和8年2月

イ 月2回入会説明会を開催すると共に、女性会員拡大のため、女性のための入会説明会を2回開催しました。

○入会説明会（女性のための入会説明会含む）

項目	実施回数	出席者数	仮会員登録者数	登録率
7年度	25回	115人	77人	67.0%
6年度	25回	107人	85人	79.4%
増減	±0回	8人	△8人	△12.4pt
増減率	±0%	7.5%	△9.4%	—

○女性のための入会説明会（再掲）

開催日及び参加者数 令和7年9月2日 5人

令和8年2月3日 5人

ウ 市民祭に参加し、シルバー事業のPR活動に努めたほか、シルバー人材センターの認知度を計るためのアンケート調査を実施しました。

(3) 就業機会の拡充

作業の申し込みが簡易にできるよう、WEBによる受注の実施について検討をしました。

(4) 適正就業の遵守

「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に基づき、令和6年度の愛知県の最低賃金が50円引き上げられ1,077円になったことから、令和7年度から平均4.6%の配分金単価を引き上げました。

また、令和7年度の愛知県の最低賃金が63円引き上げられたことから、令和8年度に向けて配分金単価の見直しについて検討しました。

(5) 組織体制の充実

ア 郵便による配分金明細書の送付を廃止し、センターと会員とのコミュニケーションツール「Smile to Smile」を活用し、配分金の明細が確認できるように変更するとともに、さらなる利用可能会員の拡充に努めました。

イ センターのホームページを随時更新し、会員、市民等への情報提供に努めました。

ウ 各種制度の改正等に伴い、当センターの規程等を制定改廃するため、理事会に諮りました。

○令和7年9月17日理事会決議

・中期計画（策定）

○令和8年1月21日理事会決議

・センター利用規約（制定）

・センター会員業務就業規約（制定）

○令和8年3月18日理事会決議

・配分金規約（改正）

・事務費規程（改正）

・財務規程（改正）

・定款第4条第1号に掲げる事業の契約に関する規程（制定）

(6) 独自事業等の推進

ア 市のふるさと納税の返礼品として、市内の空き家となった住宅の見回りを年4回行う「空き家見回りサービス」を実施しました。

実施月	6月	9月	12月	3月	延べ件数
件数	6件	7件	6件	5件	24件

イ 令和7年10月11日（土）市民祭において、わらじ・わら細工の展示販売を実施し、伝統ある民俗芸能の継承・振興に寄与するわらじ作り事業についてのPRを実施しました。

ウ 「棒の手保存会」をはじめとする10団体と3個人へ、合計684足のわらじを作成し納品しました。